ROTARY CLUB OF HEKINAN WEEKLY

碧南ロータリークラブ週報

第２６１２回例会 平成２４年１０月１０日(水)

●会長 黒田 昌司
●幹事 木村 徳雄
●会場監督(SAA) 新美 雅浩

■例会日　毎週水曜日　12:30　■例会場　碧南商工会議所ホール
■事務局　碧南商工会議所内　〒447-8501　愛知県碧南市源氏神明町 90
TEL<0566>41-1100　FAX<0566>48-1100
ホームページ：http://www.hekinan-rc.jp
E-mail:info@hekinan-rc.jp
■会報委員　菅原優・鈴木泰博・服部弘史・大竹密貴

2012-2013 年度　国際ロータリーのテーマ

●斉　唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のメニュー

和風弁当　大正館

●本日のお客様

元サッカー日本代表　吉田光範様
名古屋名北ＲＣ　川村智康君
マルコス パズＲＣ（アルゼンチン）　勢理客　ビセンテ君

会　長　挨　拶

黒田昌司会長

先々週、例会を欠席させて頂いて、隣の国へ行って、せいこう問題、歴史問題を２日ほど過ごして参りました。

韓国、中国のそれぞれと話してみても解決しない、それは教科書問題がからんでいる、といろんな方が言っております。韓国にしても中国にしても学歴社会なので、教科書に載っている事と違う事を言うとテストで良い点がとれない、だから教科書に載っている事は絶対に正しい、と思い込まねばいかんという事で、私共８人で戦いを挑んだのですが、万策尽きました。個々ではなく、国にどうにかしてもらわないといけないという事です。

教科書問題で、成功した事例を紹介します。イギリスの首相で、マーガレット・サッチャーという人がいます。この人が首相になった時、青少年が非常に荒れていました。何でかを考えた時に、教科書に植民地で悪い事をした、という内容が書かれておりました。サッチャーさんは、法律を変え、国が教科書に載せる内容を決めれるようにしました。そして、歴史上の良い行いを教科書に載せたところ、荒れていた青少年達が段々よくなっていきました。日本でも過去にやった良い行いを教科書に載せた方がいいと思います。

また、最近領土でも問題がありますが、サッチャーさんの時に、フォークランド紛争というのがあり、こんな事を言っております。「人命に代えても領土を守らねばならない。領土とは国

家そのものであり、その国家なくしては、国民の生命、財産の存在する根拠が失われる。」と発言しました。発言前は支持率が５０％を切っていましたが、発言後は７３％まで上がりました。これを日本で考えてみますと、野田さんがこの発言をした際に、先ほど話した教科書の内容が影響するのではないかなぁという事で、楽しみな数字が出てくるのではないかと思います。

幹　事　報　告

木村徳雄幹事

- 退会届けが出ておりまして、大川隆雄さんが９月末日で東京の方に転勤になりました。
- その代わり入会候補者、渡辺徳隆さんをご推薦されました。
- 緑の羽根が終わりまして、赤い羽根になりました。今月中は皆様が参加して頂けるまでやりますので、よろしくお願い致します。
- 西尾 KIRARA ロータリーの例会変更がたくさんあります。
- 第一回の選考次年度指名委員会の選任が決まりました。池田弘孝様、平岩統一郎様、奥田雪雄様、石川春久様、黒田昌司様、長田豊治様、私の７名が指名委員になりましたので、次回１０月２４日（水）の１３時３０分から１０２号室で会議をしますので、よろしくお願い致します。
- また、我こそ地区に行きたいという方がおられましたら、ぜひ出向のほど、１０月１６日までに事務局に言って頂ければ、地区に出向ができますのでお願い致します。

委　員　会　報　告

＜出席奨励委員会＞

総会員数 68 名（内出席免除者 13 名の内出席者 9 名)出席者 56 名	
出席対象者　56／63 名	出　席　率　　88.89%
欠席者 12 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率　100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

＜ニコボックス委員会＞

山中　寛三君　同じ苗字の山中伸弥教授がノーベル賞を受けられて、おめでとうございます。

加藤　良邦君
亀山　裕一君
長田　豊治君
９月２８日、安城クラブを終え、全ての補佐訪問を終える事が出来ました。特に、安城クラブでは、会長・幹事さんより地区大会全員登録のお礼を丁重に頂き、大きな顔して任を務める事が出来ました。会員の皆様の御厚情、深く感謝致します。

木村　徳雄君　９月３０日、消防観閲式でロータリー会員の中で、消防関係者の皆さん大変ご苦労様でした。これからも市民の生命と財産を守って下さい。

角谷　信二君　長田昌昇さんにお世話になりました。

山中　寛紀君　　先月末、岡本副幹事さんにお世話になりました。有難うございます
榊原　　健君　　本日の卓話の講師の吉田光範さんを紹介します。
鈴木　宏枝君　　天候にめぐまれ、一年に一度の地元の祭礼が無事すみました。ありがとうございました。

ビ　ジ　タ　ー　挨　拶

マルコス パズＲＣ（アルゼンチン）勢理客 ビセンテ君

ビセンテ君

私はアルゼンチン２世でありますので、簡単な日本語であいさつをさせて頂きます。

私は、アルゼンチンのマルコスパズという３万４、５千人の人口の街の RC を紹介され、３９年前からずっと勤めています。小さい街でわずか２０名の会員のところで、会長も２、３回やり、ロータリーを楽しんでおります。そして、親戚が碧南市に勤めてお世話になっておりますので、せっかくなので碧南 RC にお邪魔しにきました。おみやげも頂きまして、ありがとうございました。

卓　　話

「オフト・ジャパン」　吉田光範様

吉田光範様

オフトジャパンの話をしたいのですが、今日、アルゼンチンからのお客様もみえますので、日の丸を見て、国立競技場でマラドーナ選手のアルゼンチンと戦って２−０で負けましたのを思い出しました。非常にアルゼンチンが強い時代でした。

日本代表についてお話をします。オフトジャパンになって大きく変わったのが、サッカーがすごく論理的になった事です。今までの代表もすごい方はたくさんおられましたが、感覚的に戦っているという感じで、１１人で戦って行くという意識が乏しかったように思います。オフトは、アイコンタクトやコミュニケーションをキーワードにして、お互いに役割を与えて、その中でどう動いていくか、それが、アジアを突破して行くキーワードである。それをミーティングでしっかり説明しました。日本の企業でいうと、カズやゴン中山や高木のトップスターは営業として仕事をとり企画を通し、そしてゴールをとりチームに利益を与えるという事を仕事として、憧れで終わっていた日本代表チームに、アジアで勝ち抜く事を明確にして仕事なんだぞと、刺激を与えてくれました。そして、この仕事や役割を必ずしなさい、とミーティングで

徹底して言われました。役割を徹底し、時間をかけ論理的に説明する事で、ミーティング外でもコミュニケーションが取れるようになりました。その結果、自分の特徴や味方の特徴が見えてきました。自分の長所を延ばす、ここが日本の監督と外国の監督の違いでした。最初はバラバラだったピースが段々と組み合わされるようになってきました。

指導の立場になって子供達に何が言いたいかというと、臨機応変になってほしいという事です。相手が韓国だったり、中国だったり、イランだったり、スタイルや戦略が違うわけです。過去のデータを全部見て分析しても、実際のゲームになった時にそれらをやってくるかというとやってこないです。ここで一番大事なキーワードは、「臨機応変」です。状況を見て、なぜ動くのか、どのように動くのか、その判断をしながらプレーしてほしいです。

子供は２、３歳で危険な物を把握します。サッカーでも目で見て、頭で常に考えながら動く事を重要視して、柔軟に対応できるように指導していきたいです。そういう活動を刈谷の総合公園のグランドをお借りして、幼稚園から小学校６年生までやっているので、お時間がありましたら、月曜日から金曜日までやっておりますので見に来て頂けたらなと思います。

本日は、貴重な時間をありがとうございました。

次回例会案内　平成 24 年 10 月 24 日（水）
卓話「雅楽の調べ」
宿縁寺　若院　織田顕慶氏